

平成 21 年度 地域のスポーツクラブの調査結果

長野県教育委員会事務局スポーツ課

調査時期 平成 21 年 6 月 ~ 7 月
対象学校 県内公立中学校 192 校
調査方法 質問紙法

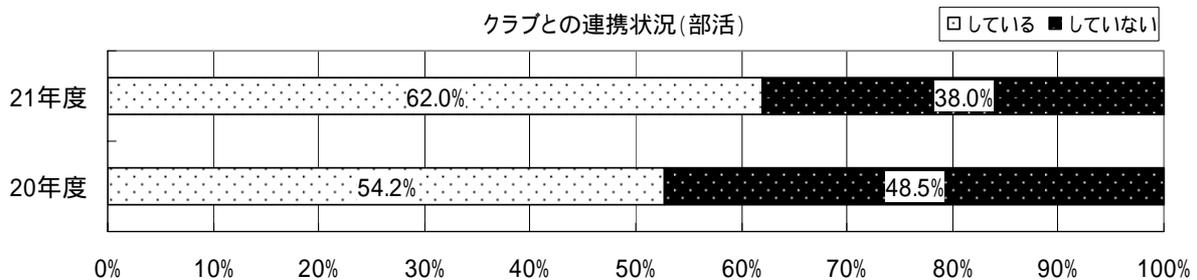
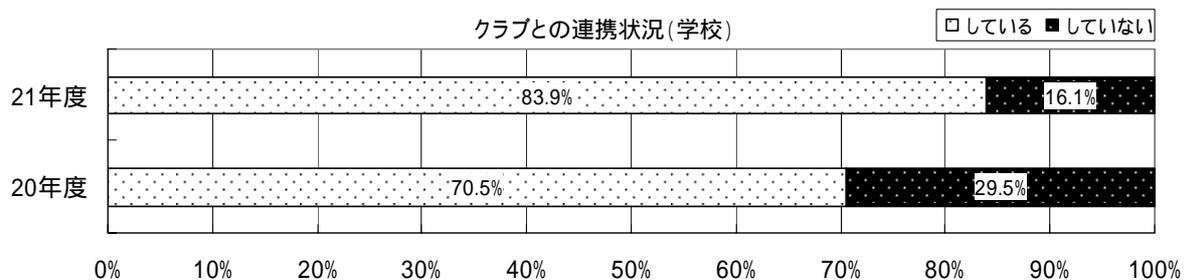
地域のスポーツクラブ(以下「クラブ」という。):

学校の教育活動の一環として行っている運動部活動ではなく、社会体育として実施しているクラブ、総合型地域スポーツクラブなどで、商業型スポーツクラブは除く。

1 クラブとして連携して活動している運動部がありますか？

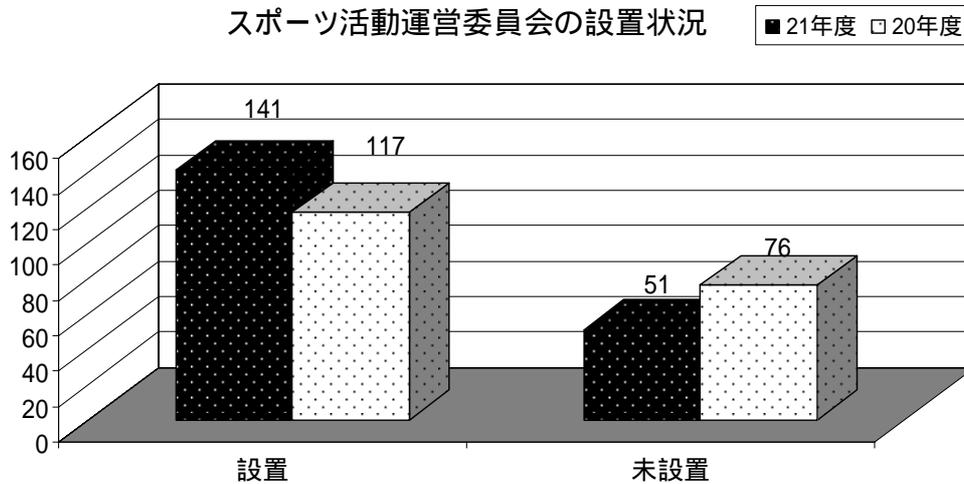
192校の中学校のうちの161校(約84%)に、クラブと連携しながら活動する運動部があります。部活動の数で見ると、1,496部のうちの928部(約62%)が連携して活動していることになります。

昨年と比べ、学校数で25校、部活動の数で122部増えました。

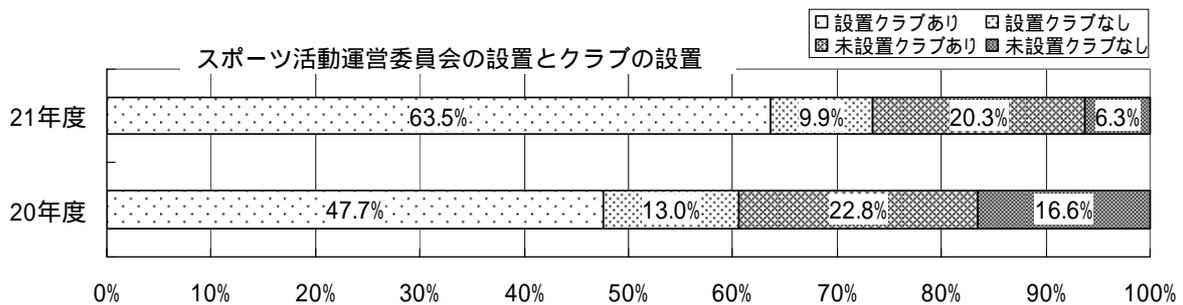


2 スポーツ活動運営委員会が設立されていますか？

192校の中学校のうち141校にスポーツ活動運営委員会(以下「委員会」という。)が設置(予定)されています。昨年と比べ、24校増えました。

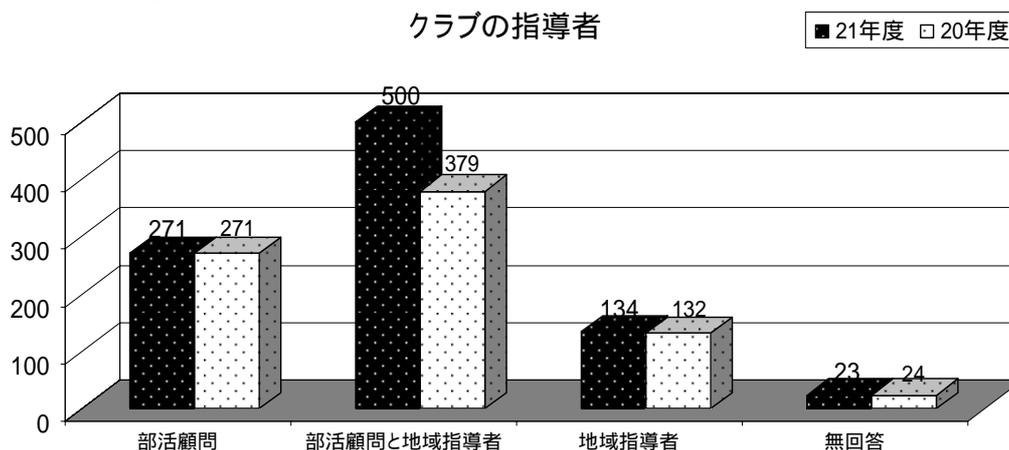


委員会を設置し、クラブと連携して活動を行っている学校は122校(約64%)、未設置でクラブと連携して活動を行っている学校は39校(約20%)ありました。昨年と比べ、委員会を設置した上でクラブと連携を図る学校が増えています。



3 クラブは誰が指導していますか？

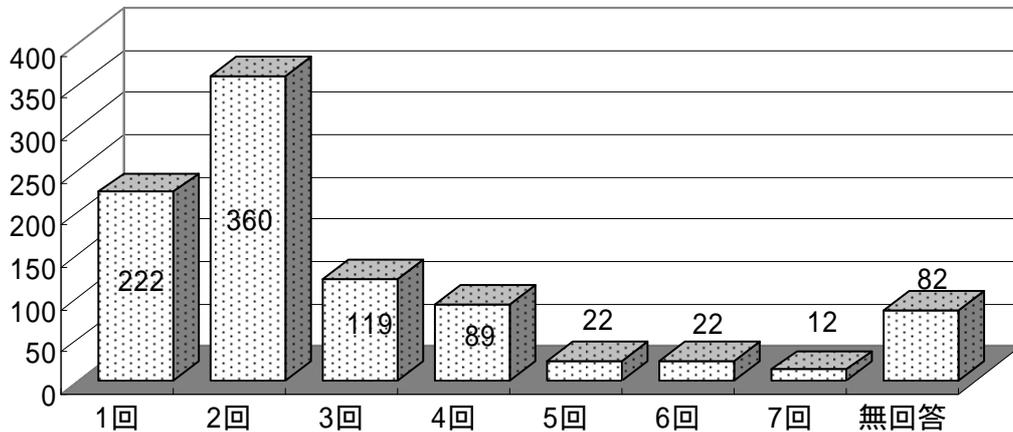
部活動顧問と地域指導者で指導しているクラブが最も多く、次いで、部活動顧問、地域指導者の順となっています。多くの地域の方々がクラブの指導をしてくださっていることがわかります。



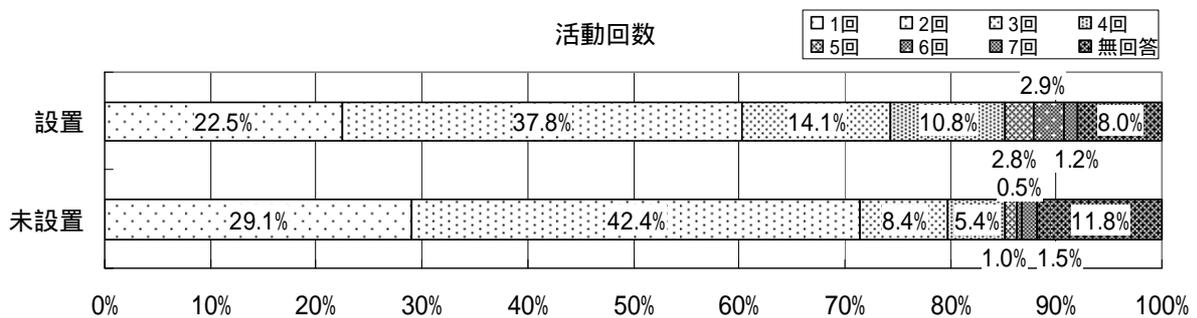
4 週何回活動していますか？

活動する回数で最も多いのは2回の360クラブ、次いで1回の222クラブ、3回の119クラブとなっています。また、毎日活動しているクラブが12クラブ（陸上、ソフトテニス、軟式野球、バレーボール、柔道、スキー、バスケットボール、アイスホッケー）あります。

1週間の活動回数

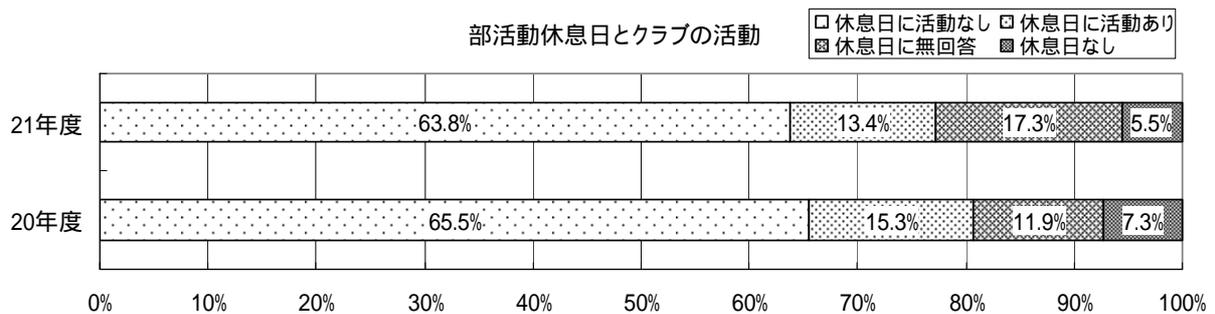


委員会が設置されている校区のクラブの方が、活動回数が少ない傾向がみられます。

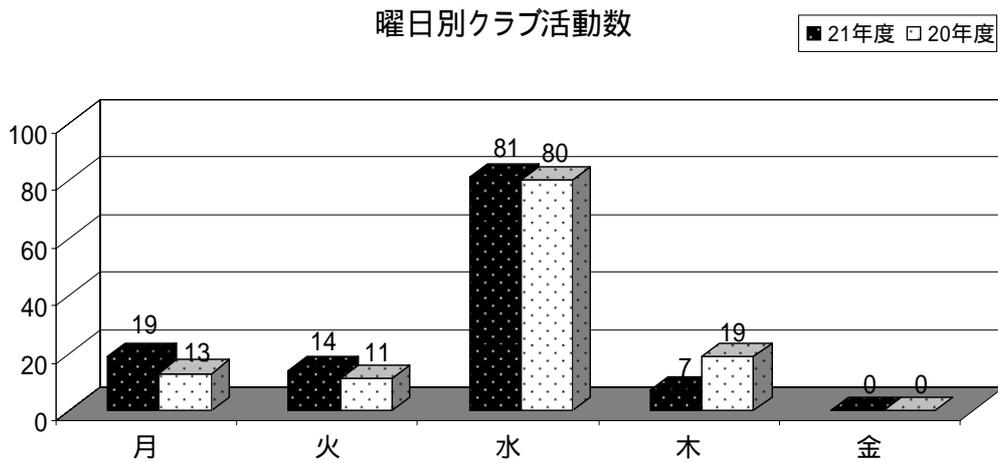


5 部活動休息日に活動するクラブはどのくらいありますか？

部活動の休息日に活動するクラブは約13%です。昨年より、若干減少しました。

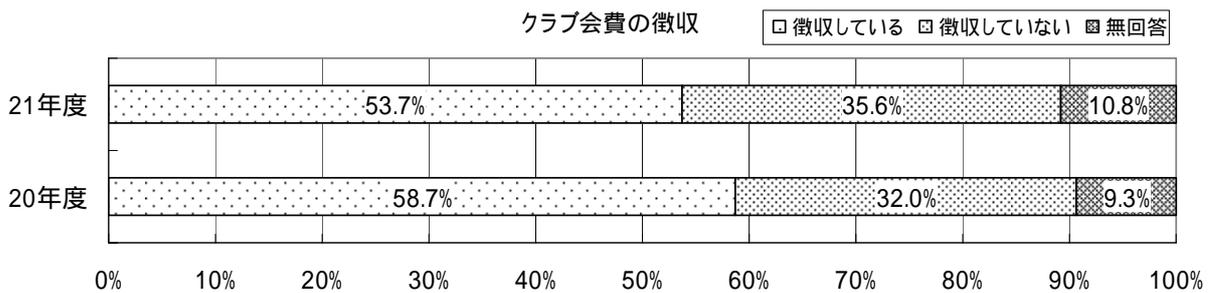


部活動の休息日のクラブの活動状況を曜日別にみると、水曜日と月曜日に活動しているところが多いことがわかります。



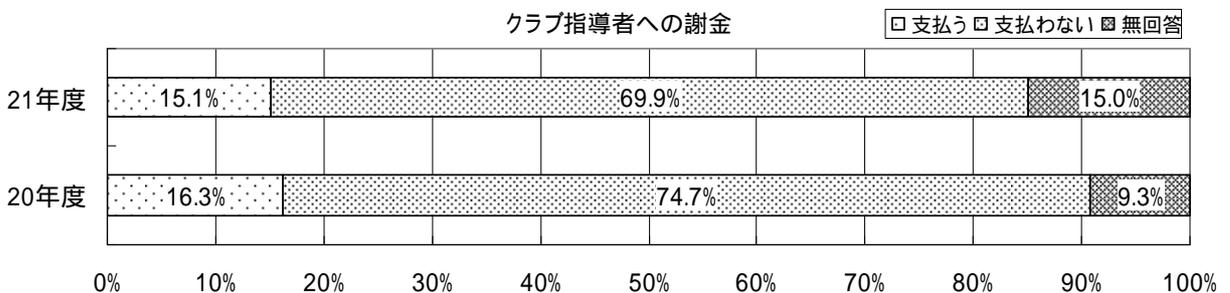
6 会費は徴収していますか？

クラブの約54%が会費を徴収しています。



7 指導者に謝金を支払っていますか？

指導者に謝金を支払っているクラブは約15%でした。クラブ指導者の多くは、ボランティアとして活動していることがわかります。



8 スポーツ保険に加入していますか？

クラブの約92%がスポーツ保険に加入しています。ほとんどのクラブが保険に加入していることが分かります。

スポーツ保険への加入

加入 未加入 無回答

スポーツ活動運営委員会の設置

- ・長野県内、192校ある中学校のうちの141校において、スポーツ活動運営委員会が設置されている。
- ・クラブと連携して活動している部活動のうち、122校にはスポーツ活動運営委員会が設置されているが、44校は未設置のままである。

考 察

長野県では、適切な運動部活動の実施に向け、各中学校の部活動の抱える諸問題等について協議・検討する場として、中学校区ごとにスポーツ活動運営委員会を設置するよう呼びかけている。昨年度、117校であった設置校数は、今年度、141校に増えた。

クラブと連携する部活動の数が増える中、子どもや教員の負担の増加を指摘する声が聞かれる。昨年に比べ、委員会未設置の校区のクラブの方が設置されている校区のクラブより、地域の指導者の活用が進んだり1週間の活動回数が少なかったり改善の傾向がうかがわれた。

委員会は、設置することに意義を見出すものではない。活動を縮小することがすべてではないが、子どもにとって、心身ともに、真に意味のあるスポーツ活動となるよう、委員会で活発な議論がなされることが望まれる。

今後、県として未設置校に対して委員会の設置のお願いをするだけでなく、設置済みの学校に対しても、有効な委員会のもち方について、市町村教育委員会と連携しながら支援を行なっていきたい。

- ・クラブとして活動する928の部活動のうち、学校が休息日を定めている部活動が877ある。
- ・全体の約16%に当たる151の部活動は、部活動休息日にクラブとして活動している。

昨年度、学校が定める休息日に活動を行なっているクラブは全体の約30%であったが、今年度、その割合は約16%にまで下がった。その理由として考えられるのは、日曜日を休息日と定める学校と連携するクラブが122から31に減ったことである。一方、日曜日に活動するクラブの数は昨年度の331から509へと大きく増えており、楽観視することはできない。

上述のとおり、クラブの活動については加熱する傾向が見られるが、参加する生徒の健康状態を考えると、休息日については、確実に確保していただきたいと考える。

部活動とクラブでは、活動する生徒、指導者が同じことが多い。休息日の設定とその確実な実施を含め、適正な活動のあり方について、校長会等を通じ、学校、クラブに呼びかけていきたい。